

平成 30 年度長崎県柔道場連盟総会（議事録）

日時：平成 30 年 4 月 21 日（土）

場所：長崎県立総合体育館 中研修室

時間：14:00～15:00

1. 開 会

松永理事長が議長を務め進行を行う。

2. 会長挨拶 : 本村龍太郎 会長

本日は県内各地から先生方に集まりいただき感謝申し上げます。

3/25 にメモリード杯長崎県柔道場連盟少年柔道大会が盛会裏に終了した。スムーズに終了したのも先生方のお蔭だと思っており、深く感謝している。

本日の総会にあたり、活発な意見をいただき、これからの少年柔道の発展に努めたいと思っている。

大会成立

本日は会員 73 名の内、出席 24、委任状が 39 名、合計 63 名である。よって過半数を満たしており、大会は成立していることを報告する。

《報告事項》

(1) 平成 29 年度会務・決算・監査報告

会務報告：資料により松永理事長が説明。

会計報告：資料により第 28 回柔道場連盟大会収支報告、H29 柔道場連盟収支報告について松本会計が説明。29 年度決算では、柔道場連盟大会決算から 603,323 円を繰り入れ、決算額 5,557,600 円である。4,011,502 円を翌年度繰越とする。

監査報告：村田副理事長より報告。

4/20 に第 28 回柔道場連盟大会事業、及び H29 柔道場連盟会計にかかる監査を行い、決算書のとおり誤りなく適正に処理されていたことを確認したと大串監事から報告があった。

(2) 道場連盟普及・強化委員会報告

中地区 : 俣野強化委員長より報告。10/29 諫早高校で行ったNマーク合同練習では 100 名を超える参加があった。長崎地区には連絡の不手際があり迷惑をかけた。

佐世保地区：松田強化委員より報告（別添資料参照）。大きな事故もなく無事に終了した。

県Nマーク強化報告：陣内県強化副委員長より説明。五島合宿は天候不順で中止となった。2 月に佐賀市で交流合宿を行った。県Nマーク練習は各地区持ち回りで実施してきたが、H30 年度も同様に行う。早めに日程を設定して行っていきたい。

サクラマークの練習は、例年行っている熊本合宿が天候不順のため延期となり、後に福岡で開催となった。

議 長：報告について皆さんの質疑をお願いします。

松添先生：H29 年度全国大会出場は「諏訪の森柔道教室」でなく「講志館」です。

その他の質疑なし→ 承認される。

《協議事項》

(1) 平成 30 年度事業計画（案）・収支予算（案）審議

事業（案）：松永理事長が資料により説明。

●柔道大会の開催及び支援

- ①全国小学生学年別柔道大会予選 5/26（土）佐世保市県立武道館
- ②九州少年柔道大会 6/30～7/1 久留米アリーナ
- ③明社協柔道大会 12/2 県立総合体育館
- ④NCC 杯柔道大会 2/4 県立総合体育館
- ⑤メモリード杯柔道場連盟少年柔道大会 3/24 諫早市小野体育館

●各道場の支援

- ①全国少年柔道大会（東京）の県代表チームに支援
- ②全国小学生学年別柔道大会（山口県）の代表に支援

●選手強化活動

収支予算（案）：資料により松本会計が説明。

予算として収入額 4,546,502 円、支出額 4,546,502 円（繰越見込額 1,516,502 円）

議 長：説明について、皆さんからの質疑は？ → 質疑なし→ 承認される。

(2) N マーク強化練習・強化合宿について

陣内県副強化委員長：N マーク合同練習の日程は、これから決定する。12 月までには各地区一巡できるように 5 月から取り組んでいきたい。また、五島合宿、佐賀合宿も前年同様に実施する。

桂雄剛先生：長崎地区の強化練習を九州少年柔道大会前に行いたい。日程は 5/13（日）チューリップアリーナで行う。

議 長：説明に対し、皆さんからの質疑は？ → 質疑なし→ 承認される。

(3) 全国小学生学年別柔道大会長崎県予選について

松永理事長：資料に大会要項を添付参照。5/26（土）開催。

離島の船の関係で開始時間を 1 時間早める。試合会場は 2 面。審判員は A ライセンス 10 名で行う。

選手宣誓を 6 年生女子 健心会 佐伯美来 選手を推薦したい。

(4) 九州少年柔道大会について

松永理事長：来月 6 日に会場となる久留米アリーナで役員会及び抽選会を開催して、詳細を決定していく。ルールは基本的には昨年どおり。

今大会は昨年参加した鹿児島県と沖縄県が難しい状況である。

監督や審判員の先生方への謝金は予算の関係から 2 日間で 6,000 円としたい。

懇親会の場所などは未定である。また、宿泊の斡旋はしない。必要であれば各自で確保してほしい。日帰りも可能な距離である（福岡、熊本の一部は日帰りが予想される。）

議長：説明に対し、皆さんからの質疑は？

川崎先生（吉井）：九州少年柔道大会へ出場する選手の補助・支援はないのか？

松永理事長：大会には各県から 5 万円を負担金としていただき、その他必要な費用は全て本村会長が負担されており、連盟には事業予算はない。よって、補助支援金は出せない。

(5) その他

事務局から連絡

- ・知的障がいを持つ方の練習参加状況に関する調査について（お願い） ※別添資料説明。
- ・役員変更について
常任理事であった針尾先生が北松柔道協会の会長に就任したことから、役職が「顧問」に、また新たな常任理事には吾妻少年柔道クラブの寺田先生が就任。
壱岐柔道協会長も尾関先生に変更。
併せて、佐世保地区の強化委員も変更した。資料参照。
- ・武徳館がしばらく休止するとの報告があったが、名簿には掲載している。
- ・6/17 開催の日整旗少年柔道大会県予選には、これまで各道場から同階級に 2 人までの参加としていたが、今回から人数枠を撤廃した。
- ・柔道場連盟からの連絡案内について、できる限りメールで送付し、経費節減に努めたい。連盟の HP に連絡先を入力してほしい。

意見・要望など

本村会長：武徳館の池田実琴さんが前回の九州少年柔道大会（6 年生女子重量級）で優勝して、長崎県少年スポーツ賞（奨励賞）を受けた。しかし、小佐々町の岩井くんは 2 連覇しているのに受賞していない。経緯など分からないか？

佐々木先生：県の受賞は必ず、下部組織から推薦を出さないと受賞にはつながらない。しかし、各柔道協会のほか、学校にも同じ連絡が来て、学校申請分は詳細が分からない。

松永理事長：九州少年柔道大会で優勝した者が、県の表彰を受けられるように今後取り組んでいきたい。

桂孝道強化委員長：N マーク練習を行っているが、連絡をしないで休む選手がいる。必ず連絡をしてほしい。

松永理事長：その他に皆さんからの意見等はないか？ → 無し

～議事終了～